

加熱硬化形溶剤系塗装標準仕様書・同解説 第2版（2022年9月発行） 正誤表

2023.1.27.現在

環境配慮形塗装普及展開委員会

No.	頁	章	節・項	訂正箇所	誤	正
1	15	1	1.4	解説文(22行目)	破壊検査用の <u>代用試験片</u> 等を・・・	破壊検査用の <u>試験片</u> 等を・・・
2	23	2	2.4	解説文 b.陽極酸化皮膜処理設備	陽極酸化皮膜厚さは電流密度と・・・	皮膜厚さは電流密度と・・・
3	40	3	3.3.3	解説文 b.	塗装するまでの工程間隔時間は48時間以内とする。	塗装するまでの工程間隔時間は48時間以内とする。 48時間を超えた場合には、 <u>陽極酸化皮膜を除去して陽極酸化皮膜処理を再度行うか、もしくは新規部材を手配する。</u>
4	58	付録1.	1.1.3	付録表1.1.2 品質 熱硬化形ふっ素樹脂塗料 耐溶性*	同左 (MEK)	塗膜に著しい光沢の変化や変退色がないこと。 (IPA)
				付録表1.1.2 品質 熱硬化形ポリウレタン塗料 促進耐候性*	光沢保持率； <u>80%以上</u>	光沢保持率； <u>規定なし</u>
				付録表1.1.2 品質 熱硬化形ポリウレタン塗料 屋外暴露耐候性*	外観； <u>塗膜に著しい膨れ、はがれがなく、著しい光沢の変化や変退色がないこと。(一般部、カット部)</u>	外観； <u>規定なし</u>
					白亜化； <u>1以下であること</u>	白亜化； <u>規定なし</u>
5	62		1.1.4	j.耐溶性(1)試験方法	塗膜表面を30往復ラビングする。	塗膜表面を30往復軽くこする。
6	107	付録4.	4.1	(12行目)	大きな上積みを表明 <u>している</u> 。	大きな上積みを表明 <u>している</u> 。
7			4.2	「地球環境・建築憲章」 提言骨子	(5) <u>継承</u>	(5) <u>継承性</u>
8	109		4.3	(14行目)	③ (1)または(2)の対策を講じない天井裏には、	③ (1)または(2)の対策を講じない天井裏には、
9				(4)天井裏については (30行目)		